



むさしだい

学校だより1月号 Web

平成28年1月8日

中野区立武蔵台小学校

校長 戸崎 晃

明けましておめでとうございます

今年もよろしく願いいたします

学校は教育活動を行う場であり、学校の中心はもちろん子供です。と同時に学校に関わる保護者、地域の方、教職員の思いを実現する場でもあります。学校教育にかかわるすべての皆様を大切に、より一層、学校・保護者・地域が一体となって子供の健やかな成長を実現する教育活動を推進して参ります。

子供一人一人の可能性を伸ばし、未来を切り拓く力を育むため、今後とも皆様のご理解ご支援をよろしく願いいたします。



中野区立武蔵台小学校

教職員一同

あいさつに学ぶ日本の良さ

～伝統を見つめ直す～

校長 戸崎 晃

「おはようございます。」

朝、登校してきた子供たちが元気にあいさつをしてくれます。私にとっても、子供にとっても、今日がとてもいい一日になるような嬉しい気持ちになります。

私は担任の頃からずっと、あいさつは最も大切な礼儀の一つであり、社会に生きる人間としての基本であると子供に伝えてきました。きちんとあいさつをするかしないかは、その行動にとどまらず、あいさつができる人間なのかどうか、人間性が問われる場面もあるのではないかと思います。

大きくなって社会に出ていくときに、あいさつができないために、自分の力を十分に発揮できる場を失うことがないようにとの願いからしっかり指導してきました。

日本のあいさつは、話しかける言葉の後ろの部分が略されてできたものと考えられています。（諸説あります。）

「おはよう」は、
お早く〇〇ですね。（起きられましたね。会いましたね。精が出ますね。など）

「こんにちは」は、
今日は〇〇ですか。（ご機嫌いかがですか。調子はどうですか。など）

「こんばんは」は
今晚は〇〇ですね。（過ごしやすいですね。寒いですね。など）

あいさつは、人を思いやる心が含まれている美しい言葉だと私は思います。初めて会った人にもその思いを伝えられる不思議な魔法の言葉だと思います。

2020年には東京オリンピック・パラリンピックが開催されます。中野区でも、平成28年度から全校で関連した学習を推進することとしています。その一つとして、本校では日本の伝統文化、伝統的な礼儀・作法やおもてなしの心などの学習も実施したいと考えています。他国の文化を理解し尊重する心の土台にもなると思います。

お正月に限らず、様々な日本の伝統行事をとおして、日本の良さ、大切にしてきた日本の心を子供たちに伝え実感させることは、現代の我々大人の使命かもしれません。未来を切り拓き、世界で生きる日本人として子供たちを導いていくよう、今を見つめ、過去に学び、未来を考えて教育活動にあたって参ります。

一人一人が輝いた学芸会

行事推進委員会 佐藤 恵子

2年に一度の学芸会。各学年とも素晴らしい演技でした。保護者の皆様には、この学芸会のために、衣装の準備や、台詞の練習にご協力くださり本当にありがとうございました。そして、たくさんのご参観と温かい拍手をいただきました。また、アンケートのご協力もありがとうございました。心より感謝申し上げます。

1年 「かっぱっこたち」



かわいい1年生は「心をついに」「大きな声でゆっくりと」「移動は素早く静かに」の3つを合言葉に頑張りました。

3年 「少年少女冒険隊」



3年生の「元気」と「本気」を伝えることができました。子供たちの歌声とお客さんの手拍子で会場が一体となりました。

5年 「魔法をすてたマジョリン」



「自分たちがどこまでできるのか。」演技だけでなく、照明、音響、大道具の仕方も互いに教え合い、大きく成長しました。

2年 「はたけのしたはおおさわぎ」



楽しみにしていた学芸会、次第に出てきた大きな声、皆が一つになって歌いました。役になりきって皆、輝いていました。

4年 「かしこい ま〜ぬけ村物語」



「見ている人を笑顔にすること」練習から目標としていたことを達成し、「演じた自分たちも笑顔になること」ができました。

6年 「夢から醒めた夢」



自分のセリフも、セリフのない場面の演技も、裏方の仕事も全力でやり遂げました。体育館全体が大きな感動に包まれました。

4年生～学び深めた社会科見学～

12月22日(火)に「中央防波堤埋立処分場」と「東京ガス ガスの科学館 がすてな〜に」に行きました。中央防波堤では、ごみの収集から最終処分までの過程をパネルで学習しました。その後、家庭などから出された粗大ごみと不燃ごみの処理施設を見学し、処分方法や運搬の様子を見学しました。

「がすてな〜に」では、エネルギーや環境をテーマに、実験や体験を通して知識や理解をさらに深めていきました。見学の際は、一人一人が考えて行動する姿が見られ子供たちの成長を感じました。



パネル学習では、ごみを減らす工夫を学びました。混ぜればごみ、分ければ資源。



「中央防波堤埋立処理場」では、埋め立てられた防波堤に立ちました。



「もう、お腹が空いて限界です!」と待ちに待った昼食の時間。どのテーブルからも楽しい笑い声が聞こえていました。



サイエンスショーでは、生ごみをテーマにミミズコンポストを用いて生ごみを減らす工夫を考えました。



環境に優しいミミズコンポスト。自然のものを利用して生ごみを分解していきます。



「がすてな〜に」の体験プログラムは、身近な暮らしの中の「環境」や「エネルギー」について勉強しました。

特別支援教育コーディネーター 横山 佳世

宿題を終わらせるのにすごく時間がかかったり、宿題をすること自体を忘れていたりするなど、家庭学習の場面で苦戦しているお子さんがいます。宿題を終わらせられない理由として、「宿題のあることを忘れてしまう」「注意の集中が続かず、気が散ってしまう」「学習内容が難しい」などが考えられます。

①一番やりやすい時間と場所について考えてみる。

※時間：帰宅してすぐ・夕ごはんの後など ◎疲れていない時がはかどります。

※場所：自分の部屋 ◎テレビのない静かな状態で集中できます。

居間 ◎時間を決めて、兄弟一緒に取り組むとはかどる人もいます。

台所のテーブル ◎おうちの人が食事の支度をしている時にすぐに質問することができます。

②宿題ファイルを用意し、ランドセルに入れ、終わった宿題をそのファイルに入れる

※提出忘れがなくなります。

③勉強のできる環境を整える。

※勉強に関係ないものを取り除き、刺激を減らす。仕切りも効果的です。

④タイマーなどを使って、合間に休憩を入れながら集中を持続させるようにする。

※10分集中→休憩→10分集中→休憩→10分集中・・・と繰り返す。

⑤宿題の内容が難しい場合は、担任と相談して、子供に合った内容や量を調整することも考えられます。



【1月の主な行事予定】 〈生活目標 礼儀正しい生活をしよう〉

1	金	元日
2	土	
3	日	
4	月	
5	火	
6	水	
7	木	冬季休業日終
8	金	午前授業 避難訓練（集団下校）
9	土	学校公開日 6年租税教室
10	日	
11	月	成人の日
12	火	安全指導朝会 給食始 発育測定6年
13	水	体育朝会 発育測定5年
14	木	校内書初め展始（～1月29日） 発育測定4年 たてわり活動（昼）
15	金	わくわくマラソン始（～2月12日） 発育測定3年

16	土	
17	日	
18	月	全校朝会 発育測定2年 委員会活動
19	火	特別時程 発育測定1年
20	水	午前授業
21	木	ユニセフ朝会 たてわり活動（昼）
22	金	
23	土	
24	日	
25	月	全校朝会 クラブ活動（武蔵丘高校との交流） 3年クラブ見学
26	火	特別時程 ユニセフ募金（登校時）
27	水	午前授業 ユニセフ募金（登校時）
28	木	音楽朝会（6年発表）
29	金	
30	土	
31	日	